



No. 13

2024年1月31日 発行

JR東労組新幹線協議会

発行責任者 浅沼宏優

1月23日「2024年度 幹総セ業務計画について」の提案を受ける！

1 定期検査工事計画

【1】全般検査・台車検査 ※E8全台検に向けた事前確認。E5～E7全検工程及びE7台検工程の検証。

形式	2024年度 検査両数		※()内は2023年度
	全般検査	台車検査	計
E2系	0 (56)	50 (10)	50 (66)
E3系	10 (40)	21 (14)	31 (54)
E5系	201 (162)	200 (240)	401 (402)
E6系	65 (62)	56 (35)	121 (97)
E7系	172 (130)	180 (156)	352 (286)
E8系	0 (0)	7 (0)	7 (0)
E926形	0 (0)	0 (6)	0 (6)
E956形	0 (10)	0 (10)	0 (10)
計	448 (460)	514 (461)	962 (921)

【2】交番検査（幹総セ担当編成）… E5系26編成、E926形1編成、E956形1編成
※E5運用増加に対応するため、休日を分散して交検を施行。現時点で配置箇所や交検施行箇所の変更はなし。

2 主な改造工事 … 台車モニタリング工事 397両

3 車両計画(新造投入・用途廃止)

【1】投入計画 … E8系35両

【2】廃車計画 … E2系40両、E3系49両

4 業務等の見直し

【1】品質管理科の体制変更 ※企画・ネット担当者へのフレックス導入。保全革新技術セの発展的解消。

【2】検査工程改善に向けた試行 ※全検450両/年に適した工程の検証。E7系台検3日工程の検証。

【3】在来線車両部品の検修受託 ※動揺防止制御装置アクチュエータ、保護接地、ブレーキキャリア。

5 箇所体制(出面数) ※企画・ネット担当者の泊り勤務をフレックスタイム制に変更(変形等+1、交代-1)。

幹総セ	現行			改正		
	変形等	交代	計	変形等	交代	計
管理	31	1	32	31	1	32
一般	235	7	242	239	6	242

6 実施期日 … 2024年4月1日

- ・今後も新幹線メンテナンスのマザーベースとして、安全と品質の要を担うことは変わらない。
- ・JR本体として、運用充当の判断や計画、品質管理、技術管理等は担うべきだと考えている。
- ・組織再編に伴い業務の幅が広がる。今後はデータサイエンティスト人材の育成も必要となる。
- ・保全体系再構築に目途が立ったため、保全革新技術セを解消。今後は保全GやCBMが担当。
- ・周期延伸に伴い入場両数が減少するため、2025年度実施に向けて工程の最適化検証を行う。
- ・新型列車無線の外観検査は当面JRで実施。検査方法や規程を整理し、将来的には委託する。
- ・運検科発足後も計画科社員の台試添乗は継続。将来的には運用科：計画科=5：5を目指す。